

戦後80年 世田谷区 平和都市宣言40年

せたがや未来の平和館 10周年記念演劇上演会

秋田県
主方志 記念
青年劇場

福山啓子 作・演出

あの夏の絵

—わたしたちは忘れない—

記憶を伝え残すために語り始めた被爆者と、
それを受けとめ、絵に表現することに挑んだ高校生たちの
2015年夏の物語。

【美術】石井強司
【照明】明河崎浩
【選曲】堀沢広幸
【音響効果】石井隆
【衣装】蓉宮岡増枝
【演出助手】清原達之
【舞台監督】松橋秀幸
【製作】広瀬公乃

【出演】藤井美恵子
広戸聡
永田江里
藤代梓
傍島ひとみ
津曲海七斗



こんなにも知らなかった
ということ
初めて知った

令和7年7月20日(日) 14:00開演(13:30開場)

北沢タウンホール 参加費無料

主催:世田谷区

問合せ:人権・男女共同参画課 平和資料館(せたがや未来の平和館)
03-3414-1530(火曜休館 午前9時~午後5時)

申し込み方法

対象:区内在住、在学の方優先
申込:せたがやコール(年中無休) 電話03-5432-3333(午前8時~午後9時)、
FAX03-5432-3100(24時間) または オンライン手続き(右記二次元コード)
申込6月16日~6月30日 抽選250名 ※抽選結果は当選の方に7月7日発送で通知

ひととき保育有 申込期間:6月16日~7月4日(せたがやコールへ/先着)



申込フォーム

あの夏の絵

福山啓子 作・演出

2015年の初演以来、各地で観客を感動の渦に巻き込み、全国公演中!

「原爆を絵であらわすなんて、すごいと思いました。」

「平和」とはなんだろう、ということを考えられました。」(12才)

「戦争をなかったことにするのではなく、ありのままを受け入れ、

次につないでいく大切さを学べた。」(中学3年生)

「世代を超えて記憶に伝える作品。今こそ、若者に伝えたい内容でした。」(70代)

被団協の機関紙で、初めて広島市立基町高校創造表現科の生徒による「原爆の絵」を見た時は、「被爆者の描いた絵?」と思いました。それほど迫力に満ちた絵でした。どうしてこのような絵が描けるのか、というのが取材を始めるきっかけでした。その後現地へ何度も伺う中で知ったのは、半年をかけて



(舞台写真) 撮影:V-WAVE

被爆者から被爆前後の経験とその後の人生まで丹念に話を聞き、現場へ足を運び、資料を調べ、繰り返し被爆者と話し合い、時には涙しながら、悪夢を見ながら、「被爆者の手になって絵を描こう」と真摯に向き合う高校生たちの姿でした。彼らは「原爆の怖さ」でなく「原爆の記憶が消えていくことの怖さ」を心に刻みながら絵を描いていたのです。

記憶を語り継ぐ—その輪の中に、皆様とともに加われたらと願っています。／福山啓子

【あらすじ】
被爆者を祖父母に持つ高校2年の恵は、美術部員。被爆証言を絵にする活動に応募することにした。初めて目の前で、少人数で聞く被爆者の証言は、「体験」として胸に迫った。はじめは乗り気でなかった部員たちも証言を聞いて変わっていく。ぶいかりあい、はげまし合いながら、見たこともないものを描くための作業が始まった…。

CAST



藤井美恵子



広戸聡



永田江里



藤代梓



傍島ひとみ



津曲海七斗



秋田雨雀・土方与志 記念 青年劇場

〒160-0022東京都新宿区新宿2-9-20間川ビル4F
TEL 03(3352)6922 FAX 03(3352)9418



info@seinengekijo.co.jp



https://www.seinengekijo.co.jp

戦後80年 世田谷区 平和都市宣言40年 せたがや未来の平和館 10周年記念 演劇上演会

日時 令和7年7月20日(日)

開場13:30 / 開演14:00(上演時間2時間・休憩15分)

場所 北沢タウンホール 参加費 無料

世田谷区北沢2-8-18



申し込み方法

対象:区内在住、在学の方優先

申込:せたがやコール(年中無休)電話03-5432-3333(午前8時~午後9時)、
FAX03-5432-3100(24時間) または オンライン手続き(右記二次元コード)

申込6月16日~6月30日 抽選250名 ※抽選結果は当選の方に7月7日発送で通知



申込フォーム

ひととき保育有 申込期間:6月16日~7月4日(せたがやコールへ/先着)